

再開された真光寺川まつり

真光寺川を清流にする会 山口拓郎
<http://www.shinkoujigawa.com/>

例年より早く梅雨が明け、いきなり酷暑の夏が訪れてきました。昨年は汚い藻が川面を覆い「真光寺川まつり」を断念せざるをえませんでした。今年は是非開催したいと云うのが皆の願いでした。藻も昨年ほど繁茂せず、流れもほぼ透明でした。慎重に打ち合を重ね今年開催と決定し、全員はりきって準備にかかりました。

九州地区に台風が襲来し天候が懸念されましたが、当日は絶好の「まつり日和」に恵まれ、下堰は朝から多くの子ども達の歓声に包まれました。やはり「まつり」はいいものです。イベントを開催することによって活気が出てきます。

後日の反省会でもさらに川をきれいにするためにどのような手立てがあるか熱心に議論されました。「多摩川の奇跡」の例からも、やはり行政・地元民・我々の協働が必要でないかと言う意見と、それが理想としても現実的にはなかなか難しいのではないかと云う意見が出されました。「まつり」開催に当たり地元の有力者である神蔵さんが積極的にバック・アップして下さいました。また、鶴三小と和光鶴小で真光寺川の実態をお話する機会が与えられました。協働は確かに難しい課題ではありますが、その手がかりを得たいものと願っています。

{6月}

6月 4日(水)「通信」印刷、一木会
支所で「通信」を印刷し関係先に配布する。18時から魚民で一木会。「まつり」のスケジュールと分担を話合う。地元の有力者であるの神蔵さんも出席され全面的に協力して下さいになった。神蔵さんは、ゆくゆくは地域ぐるみで盛り上げていきたいとおっしゃっていた。

6月 7日(土)水環境一斉調査

世界環境デーにちなんで毎年全国の河川でCODパックによる水質検査が行われている。その一環として元真光寺駐在所裏、下堰親水、開戸親水の3ヶ所で実施する。前日雨だったせいだろうか前年よりいい数値が得られた。

6月 8日(日)市民大学・公開講座

恩田川と隔年毎に担当することになっている。梅雨の季節で天候に災いされることが多く、今年も台風の余波で朝から雨だった。

野外での活動はCODと透視度の測定に止め「いちよう会館」に移動し屋内講座となった。真光寺川の概要・会の活動・棲息する魚・鳥・植物が説明された。質疑応答が交わされ12時終了した。

6月19日(木)ポスターの印刷配布

支所で「まつり」のポスターを印刷し、隣の学校に配布した。昨年「お休み」したこともあり一人でも多くの子ども達に来てもらいたいものだ。

{7月}

7月10日(木)一木会

18時から魚民で開催される。スケジュール・分担表に基づいて綿密な打ち合わせを行う。「まつり」の気分が盛り上がってくる。

7月11日(金)鶴三小のエコフェスタ参加中止

10年近く4年生がゴミ研究の成果を発表してきた。アクセスの不備から不参加が決定された。高い評価を得ていただけに残念

である。

7月13日(日)清掃作業

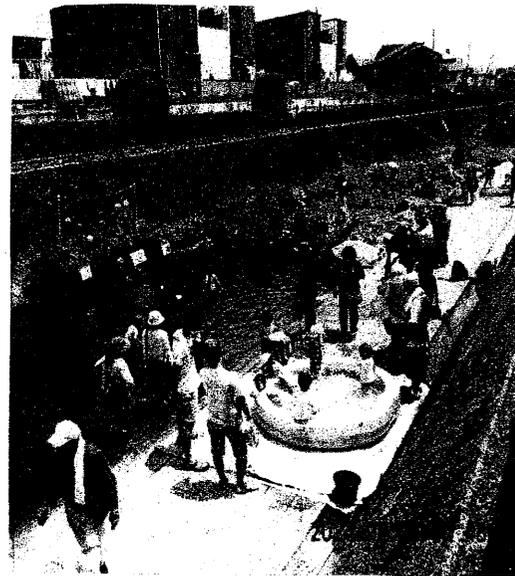
曇り。18名参加。酷暑、熱帯夜が続き熱中症が懸念されたが幸い高曇りで気温はさほど上がらなかった。増水で流されたのであろうか、ゴミは思ったより少なかった。

7月21日(月)河川敷の雑草伐採

遊歩道にそって雑草が背丈ばかりに繁茂していた。「まつり」が近づき南東建にお願いしていたところ実施された。河原の草も刈り込まれている。例年は有志で作業し難儀していたが大助かりである。

7月26日(土)真光寺川まつり

雲一つない青空に真夏の太陽が輝いていた。早朝から全員集合、それぞれ分担の準備にかかる。ミニ水族館のサカナを捕獲する者、横断幕を張る者、水鉄砲の標的の風船をぶら下げる者、目の回る様な忙しさである。10時、山本会長の挨拶でオープン！子ども達やお父さんお母さんが集まってきて下堰は華やか彩りに埋め尽くされる。魚取りに夢中なもの、笹舟流しに興ずる子。



庄巻は神蔵さんの投網教室、大きなコイが捕獲された時は大きな歓声にどよめいた。12時、和光学園父兄の和太鼓のアトラクション。勇壮な太鼓の音が下堰いっぱいに鳴り響いた。三年ぶりの開催だったが多くの人が熱い夏のまつりを満喫することができた一日だった。

{8月}

8月 7日(木)「通信」印刷、一木会

14時から支所で印刷、学校等へ配布する。18時から魚民で一木会、「まつり」の反省と水質の改善につき議論が盛り上がった。周辺が都市化している真光寺川として水の質が次第に落ちてくる現実には厳しい。それをどう改善していくかは難しい問題である。なにかいい知恵がないかと模索しながら、議論は常に堂々巡りしている。

8月10日(日)台風で清掃作業中止

今年台風が多い。その余波で前日から雨、清掃作業は中止となる。例年、8月はボランティアセンターの斡旋で高校・大学生を受け入れることになっている。今年もその予定だったが中止になり残念だ。

8月29日(金)出前講座の依頼

鶴三小のボランティアコーディネーターの方から出前講座の依頼があった。総合学習の時間に身近な環境として真光寺川を取り上げたいとのこと。対象は4学年3クラス、106名。当日は公開講座となり父兄も参加されるそうだ。真光寺川のことを知ってもらいたい機会だ。よろこんで対応する旨返事する。

8月30日(土)和光鶴小でも出前講座

和光鶴小では例年4年生になると数ヶ月かけて「真光寺川の研究」を実施している。その一環として10月に出前講座を行うことになった。

(この項おわり)